



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 東大

上場会社名 木村化工機株式会社

コード番号 6378 URL <http://www.kcpc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小林 康真

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部門長

(氏名) 谷本 周平

TEL 06-6488-2501

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	4,288	34.5	221	105.1	226	93.6	121	254.1
24年3月期第1四半期	3,188	18.0	107	304.6	116	241.2	34	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 89百万円 (334.6%) 24年3月期第1四半期 20百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	5.89	—
24年3月期第1四半期	1.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	17,978	6,515	36.2
24年3月期	18,490	6,528	35.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 6,515百万円 24年3月期 6,528百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	5.00	5.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,600	33.2	260	152.8	260	109.6	130	220.5	6.32
通期	17,800	9.1	525	△35.2	535	△35.6	255	△26.2	12.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料 P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	20,600,000 株	24年3月期	20,600,000 株
25年3月期1Q	20,580,344 株	24年3月期	20,580,344 株
25年3月期1Q	20,580,344 株	24年3月期1Q	20,580,405 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○ 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
4. 補足情報	9
(受注、売上、及び受注残の状況)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が下支えとなり、緩やかに回復しつつあるものの、欧州および新興国経済の減速や円高の長期化、さらには電力の安定供給への深刻な懸念などにより、引き続き先行き不透明感が強い状況で推移いたしました。当社グループが関連する機械業界では、海外では生産拠点の建設需要が堅調に推移しましたが、国内では、設備投資は持ち直しの動きがみられるものの、熾烈な受注・価格競争は継続しており、依然として厳しい事業環境にありました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績につきましては、海外受注案件が前年に引き続き堅調に推移し、受注高は6,618百万円と前年同四半期に比べ2,545百万円の増加(+62.5%)、売上高は4,288百万円と前年同四半期に比べ1,099百万円の増加(+34.5%)となりました。

利益面では、売上高の増加に加え、原価率は昨年並みに抑えるとともに、経費の削減に努めた結果、営業利益は221百万円と前年同四半期に比べ113百万円の増加(+105.1%)、経常利益は226百万円と前年同四半期に比べ109百万円の増加(+93.6%)となり、その結果、四半期純利益121百万円と前年同四半期に比べ87百万円の増加(+254.1%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① エンジニアリング事業

エンジニアリング事業においては、製造拠点の海外シフトが加速する一方、顧客の国内向け設備投資は延期される傾向が続く中、海外シフトする顧客の海外案件の取り込み、「食品および化成製品関連省エネ型蒸発濃縮装置」他を中心とした積極的な営業展開を実施することにより、想定よりも少しずつ前倒しで達成しております。その結果、受注高2,764百万円と前年同四半期に比べ1,000百万円の増加(+56.7%)、売上高2,083百万円と前年同四半期に比べ761百万円の増加(+57.7%)となり、セグメント利益(営業利益)130百万円と前年同四半期に比べ148百万円の増加(—%)となりました。

② 化工機事業

化工機事業においては、既存顧客を軸に、取引関係が近年希薄となっている顧客への積極的な営業活動を図るとともに、エンジニアリング事業と連携した顧客開拓及びコスト低減に注力し続けることにより、増収増益を継続できております。その結果、受注高1,730百万円と前年同四半期に比べ382百万円の増加(+28.4%)、売上高1,389百万円と前年同四半期に比べ171百万円の増加(+14.1%)となり、セグメント利益(営業利益)85百万円と前年同四半期に比べ25百万円の増加(+42.4%)となりました。

③ エネルギー・環境事業

エネルギー・環境事業においては、原子力事業を取り巻く環境は依然厳しく、MOX再処理といった当社が注力している分野においても、不透明感が継続しております。原子力事業で培った技術を応用して、幅広くエネルギー市場全般に向けて積極的な営業展開を進めておりますが、業績に与える影響がまだまだ乏しく、原子力関連のメンテナンス業務を中心に進めております。その結果、受注高2,124百万円と前年同四半期に比べ1,161百万円の増加(+120.7%)、売上高815百万円と前年同四半期に比べ166百万円の増加(+25.6%)となり、セグメント利益(営業利益)5百万円と前年同四半期に比べ60百万円の減少(△91.8%)となりました。

なお、当社グループは、通常の営業形態として、年度末に完成する工事の割合が大きいため、各四半期の生産、受注及び販売の状況の間に著しい相違があり、四半期毎の業績に季節の変動があります。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績予想につきましては、売上高については、当社単体において工事の進捗が期初の予想よりも進んでいることに加え、子会社においても堅調に推移しており、また、利益面でも経費の節減が進み、売上高、利益面とも当初予想を上回る見込みとなりました。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ0百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,964	1,775
受取手形及び売掛金	7,621	7,007
仕掛品	1,364	1,747
原材料及び貯蔵品	20	20
繰延税金資産	184	184
その他	909	900
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	12,058	11,629
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,347	1,327
機械装置及び運搬具(純額)	53	51
工具、器具及び備品(純額)	38	39
土地	3,674	3,674
リース資産(純額)	48	43
建設仮勘定	—	1
有形固定資産合計	5,162	5,136
無形固定資産	146	133
投資その他の資産		
投資有価証券	549	496
繰延税金資産	519	534
その他	63	56
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	1,123	1,079
固定資産合計	6,432	6,349
資産合計	18,490	17,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,027	5,955
短期借入金	1,084	1,079
リース債務	65	63
未払法人税等	362	102
前受金	657	464
賞与引当金	287	445
役員賞与引当金	20	—
工事損失引当金	5	32
完成工事補償引当金	44	40
その他	365	386
流動負債合計	8,920	8,570
固定負債		
長期借入金	441	341
リース債務	74	57
退職給付引当金	1,208	1,176
役員退職慰労引当金	126	125
資産除去債務	58	58
再評価に係る繰延税金負債	1,132	1,132
固定負債合計	3,042	2,892
負債合計	11,962	11,463
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,030	1,030
資本剰余金	103	103
利益剰余金	3,363	3,382
自己株式	△5	△5
株主資本合計	4,490	4,509
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10	△41
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	2,047	2,047
その他の包括利益累計額合計	2,037	2,005
純資産合計	6,528	6,515
負債純資産合計	18,490	17,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,188	4,288
売上原価	2,681	3,618
売上総利益	506	669
販売費及び一般管理費	398	448
営業利益	107	221
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	12	10
受取賃貸料	2	2
その他	1	2
営業外収益合計	17	15
営業外費用		
支払利息	5	3
手形売却損	0	—
支払手数料	2	2
その他	0	4
営業外費用合計	8	10
経常利益	116	226
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
投資有価証券評価損	—	6
ゴルフ会員権評価損	6	—
特別損失合計	6	6
税金等調整前四半期純利益	110	221
法人税等	76	100
少数株主損益調整前四半期純利益	34	121
四半期純利益	34	121

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	34	121
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14	△30
繰延ヘッジ損益	0	△0
その他の包括利益合計	△13	△31
四半期包括利益	20	89
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20	89

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	化工機事業	エネルギー ・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,321	1,217	649	3,188	—	3,188	—	3,188
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	129	—	129	—	129	△129	—
計	1,321	1,347	649	3,318	—	3,318	△129	3,188
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△18	60	65	107	—	107	—	107

(注)1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

・報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	エンジニア リング事業	化工機事業	エネルギー ・環境事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	2,083	1,389	815	4,288	—	4,288	—	4,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	59	—	71	—	71	△71	—
計	2,095	1,448	815	4,359	—	4,359	△71	4,288
セグメント利益	130	85	5	221	—	221	—	221

(注)1. 調整額は以下の通りであります。

売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

該当事項はありません

4. 補足情報

(受注、売上及び受注残の状況)

セグメント	期別 前第1四半期連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年6月30日		当第1四半期連結累計期間 自平成24年4月1日 至平成24年6月30日		前連結会計年度 自平成23年4月1日 至平成24年3月31日	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
(受注高)						
エンジニアリング事業	1,764	43.3	2,764	41.8	7,745	42.1
化工機事業	1,347	33.1	1,730	26.1	5,860	31.9
エネルギー・環境事業	962	23.6	2,124	32.1	4,771	26.0
合計	4,073	100.0	6,618	100.0	18,377	100.0
(売上高)						
エンジニアリング事業	1,321	41.4	2,083	48.6	7,289	44.7
化工機事業	1,217	38.2	1,389	32.4	5,695	34.9
エネルギー・環境事業	649	20.4	815	19.0	3,326	20.4
合計	3,188	100.0	4,288	100.0	16,311	100.0
(受注残高)						
エンジニアリング事業	7,080	46.3	7,775	41.3	7,093	43.0
化工機事業	1,179	7.7	1,555	8.3	1,215	7.4
エネルギー・環境事業	7,034	46.0	9,475	50.4	8,166	49.6
合計	15,294	100.0	18,806	100.0	16,475	100.0
(注) 輸出状況	(前第1四半期連結累計期間)		(当第1四半期連結累計期間)		(前連結会計年度)	
輸出関係売上高(百万円、%)	615	19.3	880	20.5	3,839	23.5
エンジニアリング事業	540	17.0	748	17.4	3,303	20.2
エネルギー・環境事業	75	2.3	132	3.1	535	3.3